

2023年2月10日

独立行政法人 大学改革支援・学位授与機構が 発行する「ソーシャルボンド」への投資について

公益財団法人佐藤陽国際奨学財団(以下「当財団」という)は、このたび、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構(機構長:福田秀樹、以下「同機構」)が発行する「ソーシャルボンド(第7回独立行政法人大学改革支援・学位授与機構債券、以下「本債券」)」への投資を決定いたしました。

「ソーシャルボンド」とは、調達された資金が社会課題の解決に資する事業に充当される債券であり、ESG投資の対象となります。本債券は独立した第三者機関である株式会社日本格付研究所より、国際資本市場協会(International Capital Market Association: ICMA)が定義するソーシャルボンドの特性に従った債券である旨のセカンド・オピニオンを取得しております。

本債券で調達された資金は、同機構の施設費貸付事業に充てられ、国立大学附属病院の医療設備の整備のための貸付に活用されます。国立大学附属病院の医療設備の整備を行うことで、地域の中核病院として質の高い医療の提供、臨床医学発展と医療技術水準の向上、将来の医療を担う医療人の教育・養成に寄与しています。

また、本債券は国連の策定する持続可能な開発目標(SDGs)のうち、「目標4:質の高い教育をみんなに」の達成にも貢献します。

当財団は、ASEAN・南西アジア18ヶ国から日本に留学する外国人学生並びにこれらの国に留学する日本人留学生及び日本で学ぶ日本人学生を支援しています。1996年の設立以来1000名を超える学生を支援し、現在も毎年100名前後の学生に奨学金等を支給するほか、交流会を定期的を開催しております。その費用は当財団が保有する資産の運用益で賄っておりますので、保有資産の安定的な運用に努めています。今後も適切なリスク管理のもとで、同様の投資を継続的に実施していき、収益性の確保のみならず、社会的使命・役割を十分に実施して参ります。

<本債券の概要>

銘柄	第7回大学改革支援・学位授与機構債券
年限	5年
発行額	50億円
発行日	2023年2月28日